

あなたの防災カルテ

ここが重要!



- まず、あなたに必要な「洪水ハザードマップ」「内水ハザードマップ」「土砂災害ハザードマップ」「地震ハザードマップ」を手に入れてください。

入手先：市役所や町村役場の窓口／市町村ホームページ など

- 次に、「避難情報」の入手方法を選んでください。(2つ以上)

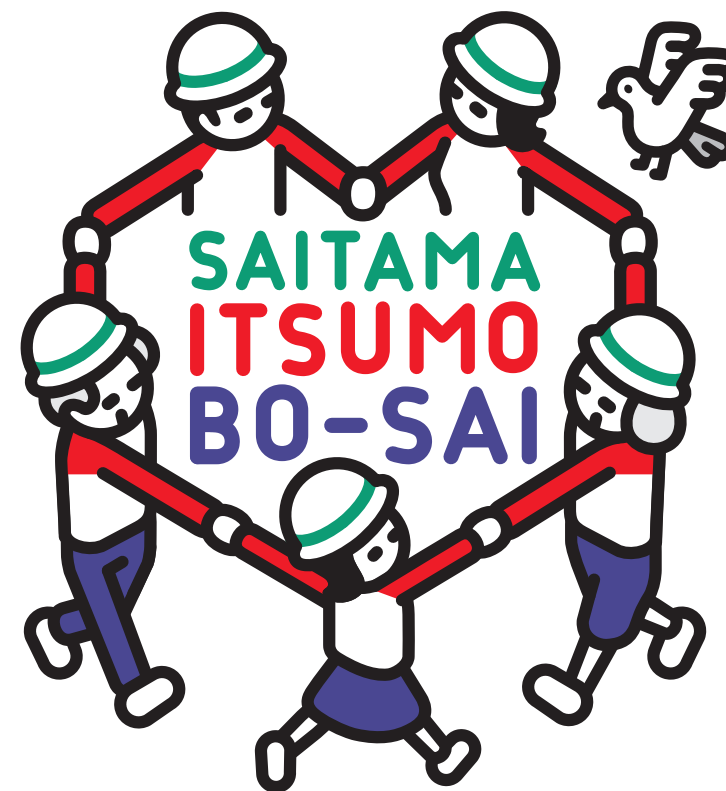
- | | | |
|--|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 防災行政無線(スピーカー) | <input type="checkbox"/> 市町村防災情報メール | <input type="checkbox"/> 市町村ホームページ |
| <input type="checkbox"/> 広報車 | <input type="checkbox"/> テレビ・ラジオ | <input type="checkbox"/> 市町村ツイッター等SNS |
| <input type="checkbox"/> 緊急速報メール | <input type="checkbox"/> 消防団・自主防災組織からの声かけ | |
| <input type="checkbox"/> その他 () | | |

- それでは、防災カルテをつくりましょう。

どんな災害 災害の種類	どんなタイミング 避難のタイミング(どんな情報・状況?)	どんな避難行動 どこへ避難する?(第1候補・第2候補)
()川の洪水 洪水ハザードマップ	浸水の深さ()m	1. 2.
()川の洪水 洪水ハザードマップ	浸水の深さ()m	1. 2.
ないすいはらん 内水氾濫 内水ハザードマップ	浸水の深さ()m	1. 2.
土砂災害 土砂災害ハザードマップ		1. 2.
地震 地震ハザードマップ		1. 2.
記入例	(●●)川の洪水	・避難勧告 ・●●川氾濫危険情報
	土砂災害	・土砂災害警戒情報 ・前兆現象 ・避難勧告
		1. ○○小学校 2. 隣のマンションの知人宅(5階)
		1. ○○小学校 2. ▲市民会館(○○小学校までが危険な場合)

目立つところに置いておきたい 防災マニュアルブック BO-SAI MANUAL BOOK

風水害・土砂災害編



あなたのイツモが、
モシモを変える。

彩の国  埼玉県

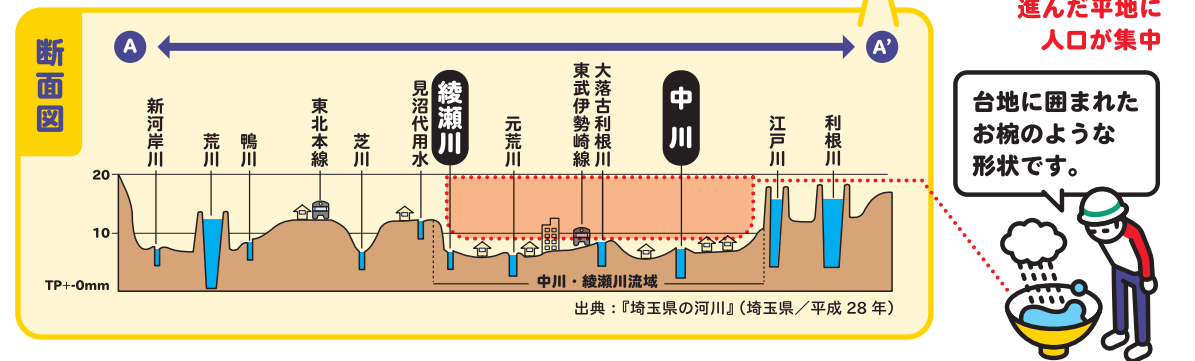
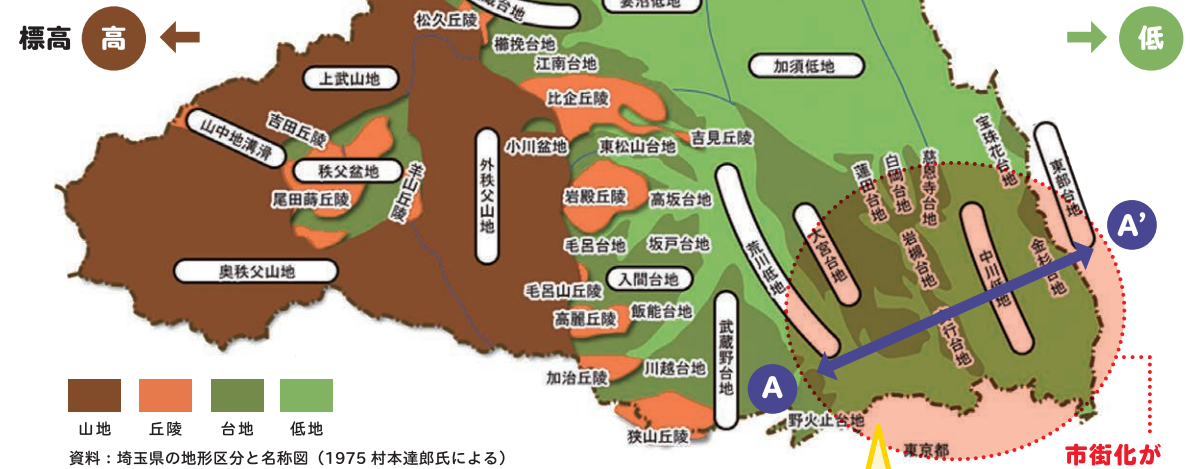


埼玉県の土地の特徴を知ろう

埼玉県には、大きな都市がある。
 豊かな自然がある。
 地元で働く人もいれば、県外で働く人もいる。
 ひとり暮らしの人、家族と暮らす人。
 じつにさまざまな人が、日々の暮らしを
 育んでいます。多様な暮らしが揃う埼玉県。
 だからこそ私たち全員が防災に取り組み
 成果を出せば、それは日本中の防災の
 お手本にもなる、と思うのです。
 災害時の備えを、ふだんから家族や身近な人と
 話し合う。準備する。それを継続する。
 そういうことが当たり前になれば埼玉は、
 いままで以上に人にやさしく、
 いのちにやさしい街になる。
 何があっても、住みやすい埼玉であるために。
 ぜひあなたから「イツモ防災」、始めてください。
SAITAMA ITSUMO BO-SAI

●埼玉県の地形特徴

- 西の「秩父山地」から東にむかってしだいに低くなる。
- 利根川や江戸川に沿った県の北東部から東部にかけての地域と、荒川に沿った南部の地域は、低地になっている。
- 県内の一級河川は162ある。
- 県の面積に占める河川の面積の割合は日本一。



この冊子で身につく3つのポイント

- ① あなたが暮らすまちで **どんな災害** がおこるのか。
- ② 災害時に **どんな避難行動** をとればよいのか。
- ③ **どんなタイミング** で避難行動をとればよいのか。

→最後のページであなたの「防災カルテ」をつくりましょう!



気付きマーク

- ここが重要!** 必ず確認してほしいページ
- 今できる** 事前に確認できること
- 災害時** 災害時の行動に関すること

●地形がもたらす災害リスク

- **水がしみこみにくい** 人が多く住む市街地は、地表面がコンクリートやアスファルトにおおわれて、雨水が地下にしみ込みにくくなっています。
- **水がたまりやすい** 低地に位置する「中川」「綾瀬川」流域は、台地に囲まれたお椀の底のような地形となっており、水が「たまりやすく」「はげにくい」浸水リスクが高い地域です。

つまり埼玉県は…

- 川がたくさんあって ● 平地（台地と低地）に人が沢山いて ● そこに水がたまりやすくてことだから… **大雨が降ると水害のキケンがある** ことだね!



あなたの街はどのあたり？ どんな地形？ 川は近くにある？



「JR 八高線」より西側の山地部は「土砂災害」がおきやすい場所が集中しているようだ。
 →市町村の「土砂災害ハザードマップ」で確かめよう！

利根川や荒川などの大きな川があるんだね！
 あと、それにつながる川もたくさん！

大きな川が近くにあると、どんなキケンがあるのかな？
 →市町村の「洪水ハザードマップ」で確かめよう！

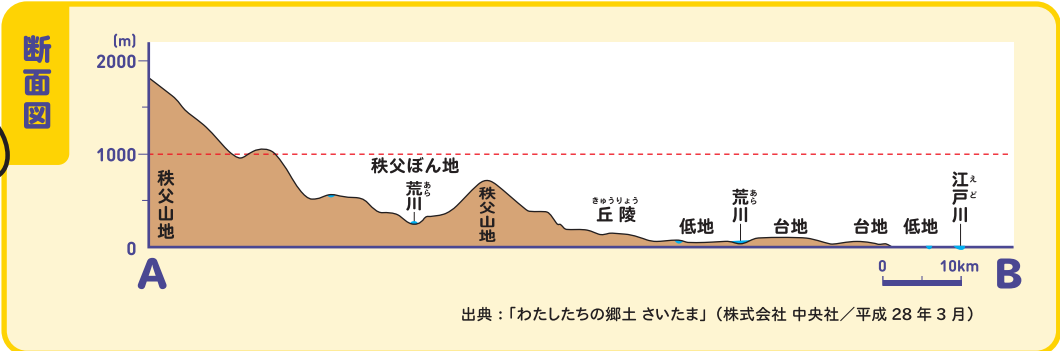
- ### 地形区分
- 山地
 - 丘陵 (きゅうりょう)
 - 台地
 - 低地
- ### 河川
- 洪水予報河川 17 河川
 - 水位周知河川 14 河川
 - その他一級河川 134 河川

断面図 A

断面図 B

西から東にかけて、なだらかに下っていくような土地なんだねー。

資料：埼玉県の地形区分と名称図 (1975 村本達郎氏による)
 『埼玉県の河川』(埼玉県/平成 28 年)



出典：「わたしたちの郷土 さいたま」(株式会社 中央社/平成 28 年 3 月)

※1 「洪水予報河川」
 氾濫のおそれがあるときに、その情報を県民に提供する河川のこと。
 {河川管理者 (国や県) と気象庁が共同で発表}

※2 「水位周知河川」
 「洪水予報河川」以外の河川で、氾濫のおそれがあるときに、河川の水位情報を県民に提供する河川のこと。{河川管理者 (国や県) が発表}

低地や、台地の凹地・浅い谷などは水に
 つかりやすいようだ。
 →市町村の「内水ハザードマップ」「洪水ハザードマップ」で確かめよう！

住んでいる市町村のハザードマップを見てみよう



●ハザードマップとは？

自分たちが暮らしている地域でどんな災害が起こりうるのかを調べることができる防災マップです。

●どんな種類があるの？

- ・洪水ハザードマップ
- ・内水ハザードマップ
- ・土砂災害ハザードマップ
- ・地震ハザードマップ

●どんな時に活用するの？

- ・日頃から学ぶ
- ・災害時に緊急的に確認する

●どこで手に入るの？

- ・市役所や町村役場の窓口
- ・市町村ホームページなど

●どんな情報がのっているの？

- ・予想される被害の範囲や危険度（浸水の深さなど）
- ・避難に関する情報（避難場所など）

覚えておきたい用語

- 指定緊急避難場所（市町村が指定）
切迫した災害の危険から「命を守るため」に避難する場所（災害の種類に応じて設定）。



- 指定避難所（市町村が指定）
一定期間「避難生活」をすることを目的とした施設。

●ハザードマップ作成状況

■ 洪水ハザードマップ作成市町村

● 内水ハザードマップ作成市町村

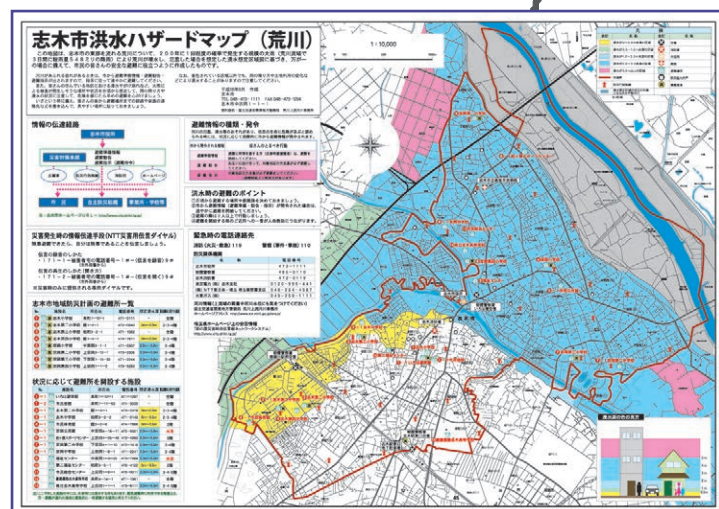
● 土砂災害ハザードマップ作成市町村（予定も含む）

※想定される災害に応じて各市町村ごとに作成しています。すべての市町村で3種類作成しているわけではありませんので、右図作成状況をご確認ください。

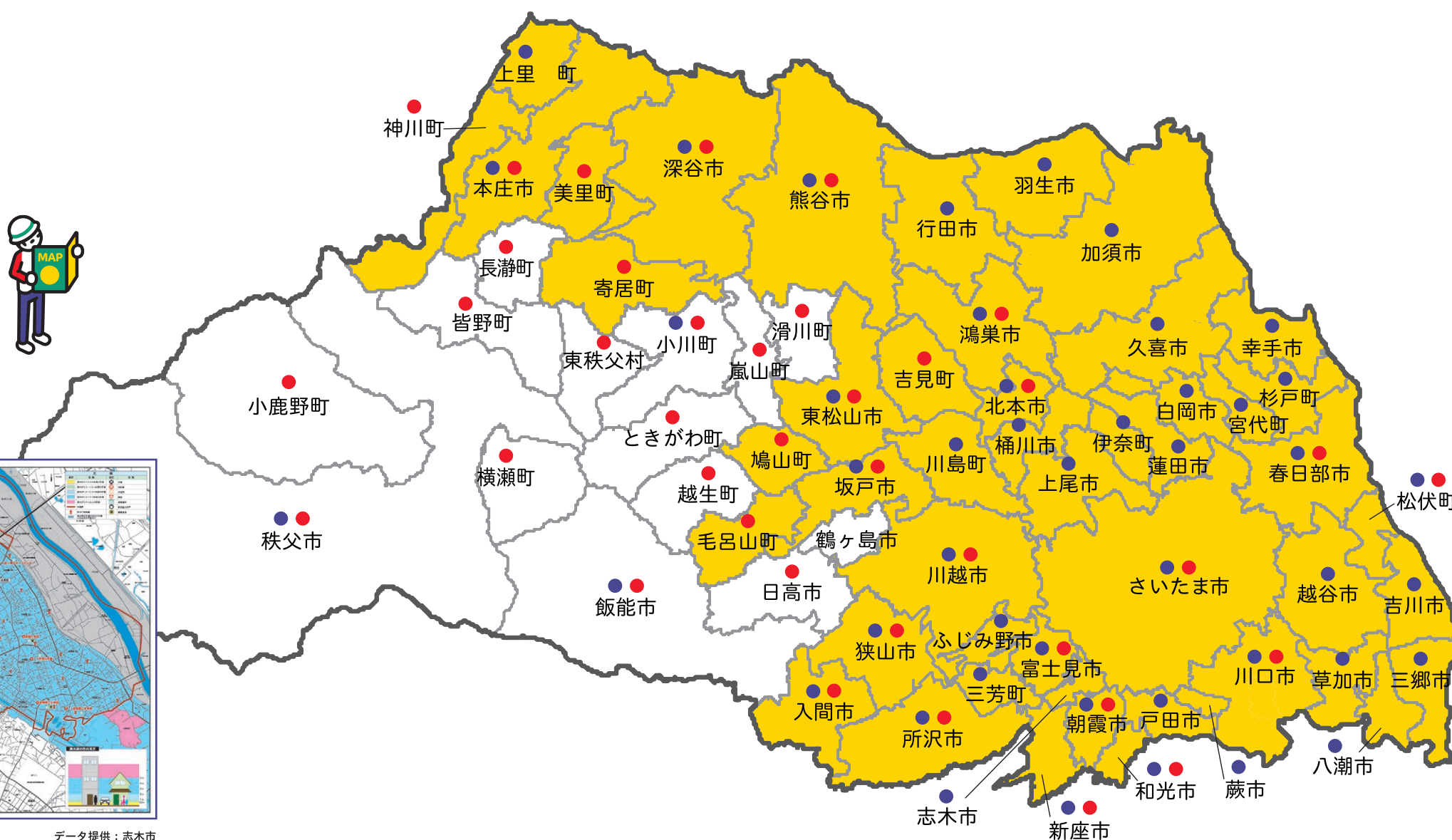
※このほか「地震ハザードマップ」(全市町村で作成)があります。



洪水ハザードマップイメージ



データ提供：志木市



埼玉県で大雨や台風などによっておこる災害

ここが重要!

竜巻

竜巻は、積乱雲に伴う強い上昇気流により発生する激しい渦巻きで、ろうと状や柱状の雲を伴っています。また移動のスピードが非常に速い場合があります。

→p15へ

強風

平均風速15~20m/sの風が吹くと、歩行者が転倒したり、更に強くなると建物の損壊や農業施設の被害が生じることがあります。

土砂災害

- がけ崩れ
雨や地震などの影響によって土の抵抗力が弱まり突然斜面が崩れ落ちる現象です。
- 地すべり
緩やかな斜面で、滑りやすい地層に雨水などがしみ込み、その影響で地面が動き出す現象です。
- 土石流
山腹や谷底の土砂や岩石などが集中豪雨などによって一気に下流へと押し流れ出る現象です。

→p13-14へ

洪水

大雨などで川の水が増え、堤防がこわれたり、堤防を越えて水があふれたりすることを「洪水」といい、あふれた川の水によって建物や土地・道路が水につかまいます。

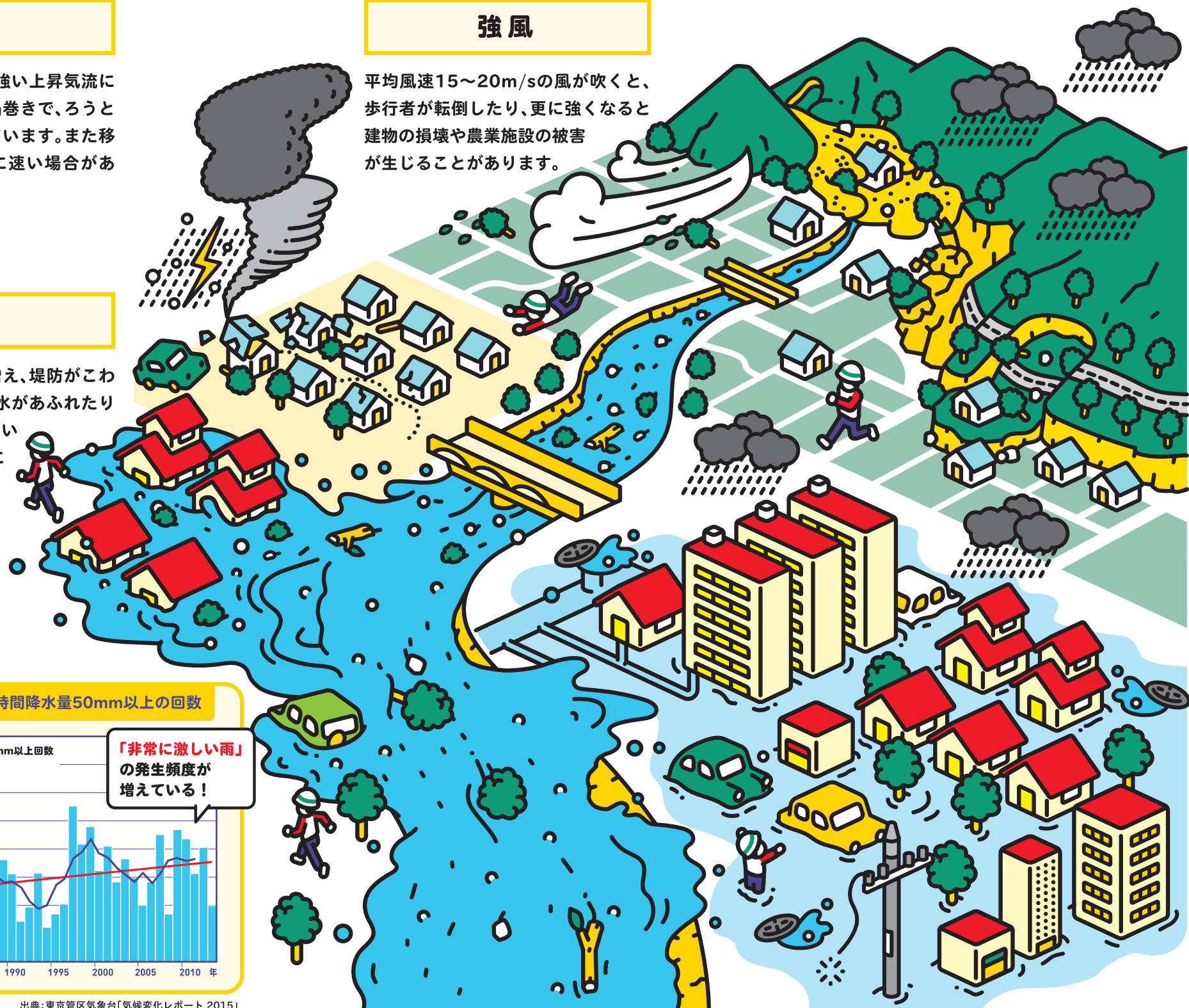
→p9-10へ

内水氾濫

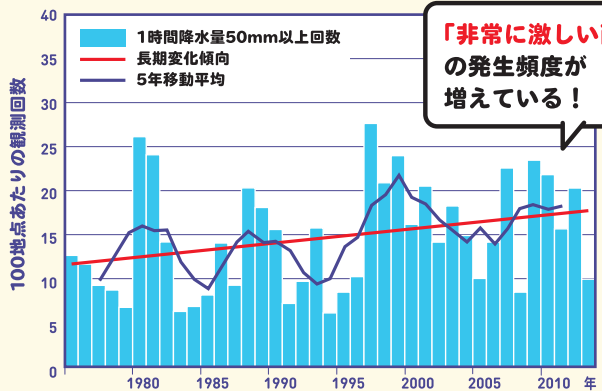
降った雨を下水道などが流しきれずに、あふれてしまうことを「内水氾濫」といい、あふれた水によって、建物や土地・道路が水につかまることがあります。

→p11-12へ

埼玉県で暮らす
私たちも、きちんと
準備しないと
いけないね。



関東甲信地方 1時間降水量50mm以上の回数



出典:東京管区気象台「気候変化レポート 2015」

洪水の基礎知識

● どうしておこるの？

台風による大雨などが原因で、川の水の量が異常に増え、堤防が壊れたり、堤防を越えたりすることによって、川の水があふれ出ることを洪水とよんでいます。

● どうなるの？

● 大量の水が一気に流れ込み、特に川の近くでは、わずかな時間で住宅などへ浸水し、家屋の倒壊や人的被害につながる災害となることもあります。

● 長い期間水がひかないこともある

● 被害の範囲が広い



● 洪水から身を守るための3つのポイント

今できる

1. 事前の確認



- 洪水がおきた時の浸水状況を確認
 - 避難場所や避難経路を複数調べておく
- 市町村の洪水ハザードマップで確認

災害時

2. 情報入手



- 避難情報…「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」など
 - 防災気象情報…「洪水注意報」「洪水警報」など
 - 河川情報…「指定河川洪水予報」「河川水位情報」
- p17-18・23へ

災害時

3. 浸水前に避難する



- 自分の地域で大雨や長雨が続けている時
 - 近くの川の上流で、大雨や長雨が続けている時
- 避難のタイミングを逃さない

● カスリーン台風

昭和22年9月に発生し、埼玉県に大きな被害をもたらした。

● 埼玉県内の被害状況

- 死者……………86人
- 行方不明者……………10人
- 負傷者……………1,394人
- 流失・全壊家屋……………1,118戸
- 床上浸水……………44,610戸

出典：「埼玉県地域防災計画(資料編)」(平成28年3月)

沈みゆくわが家を見つめる被災者

「埼玉県水害誌附録写真帳」(1950), 埼玉県



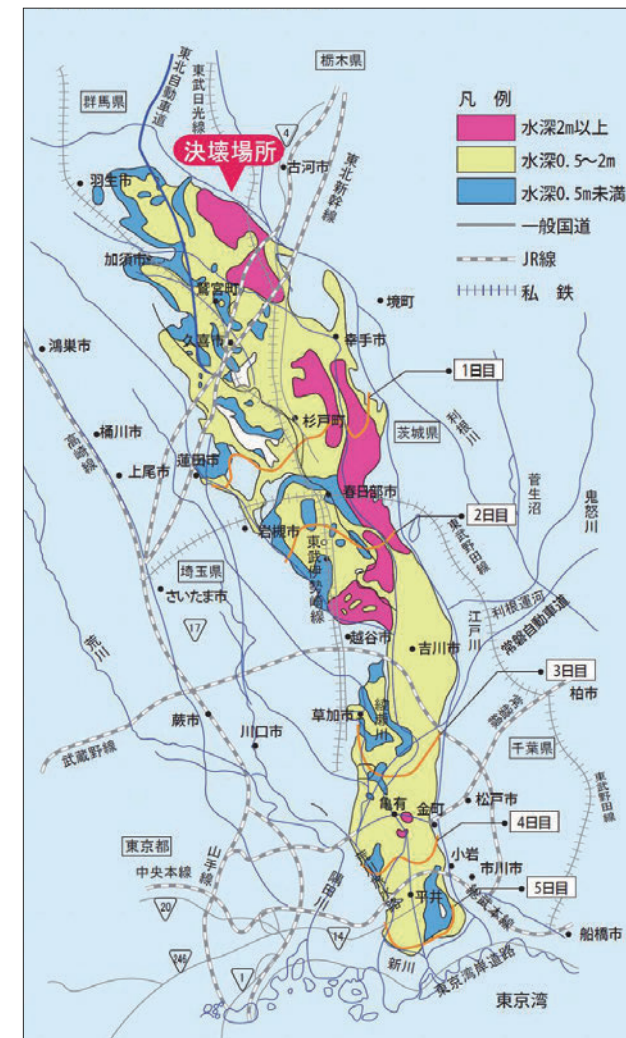
写真提供：国立研究開発法人 防災科学技術研究所

昭和22年浸水被害写真「大利根町付近の航空写真」



写真提供：国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所

● 昭和22年洪水氾濫実績図



提供：国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所

※同等の台風が来たとしても、当時より治水対策が進んでいるため、状況は異なります。

● 埼玉県外での洪水

平成27年9月関東・東北豪雨 茨城県常総市の浸水状況



写真提供：国土交通省関東地方整備局



写真提供：国土交通省関東地方整備局



ない すい はん らん 内水氾濫の基礎知識

● どうしておこるの？ どうなるの？

雨水が地下へしみ込みにくい「市街地」などに、短時間で局地的な大雨が降ると、降った雨が下水道や川に排水できずにあふれ出し、その結果、建物や道路などが水につかってしまいます。近年内水氾濫は洪水よりも発生する頻度は高く、増加しています。

● 洪水との違いは？

洪水



内水氾濫



大雨が降ると川の水位が上がり、下水道などから川へ排水されにくくなり、あふれてしまいます。



● どこでおこりやすいの？

市街地

人が多く住む市街地は、地表面がコンクリートやアスファルトにおおわれて、雨水が地下にしみ込みにくくなっています。



市街地以外

雨水の大半は地下にしみ込んだり土や緑が保水する。

● こんな場所には近づかない

災害時

アンダーパス

線路や道路をくぐる下の道路

雨水がたまりやすく、自動車などが進入して立ち往生する被害が発生しやすい。



地下街

地下鉄

地下室

地上であふれた水が地下に一気に流れ込むなど、とてもリスクが高い空間です。



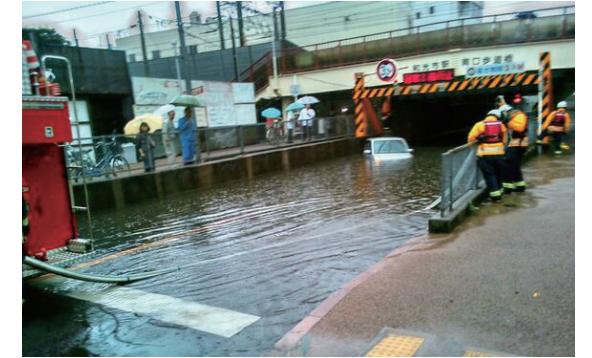
● 埼玉県の内水氾濫の事例

せんげん台駅東口 (越谷市 / 平成27年9月)



写真提供: 埼玉県河川砂防課

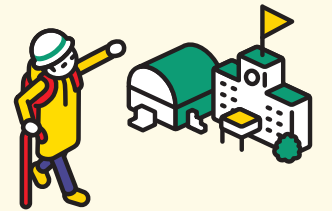
和光市駅前アンダーパス (和光市 / 平成26年6月)



引用: #和光市災害(Twitter)

こんな時は注意!

短時間(10分程度)で状況が大きく変化するために、急な大雨では、市町村の避難情報の発令などが間に合わないこともありますので、自主的に身を守る行動を早めにとることが大切です。



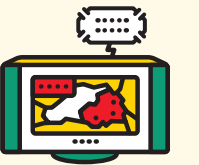
注意するポイント

1. 自分の地域で大雨が続いている



2. 大雨注意報・大雨警報(浸水害)が発表されている

3. 記録的短時間大雨情報が発表されている → P21-22・23へ



やや強い雨	1時間に 10~20mm		ザーザーと降り、地面一面に水たまりができる。
強い雨	1時間に 20~30mm		どしゃ降り、傘をさしても濡れてしまう。
激しい雨	1時間に 30~50mm		バケツをひっくり返したように降る。
非常に激しい雨	1時間に 50~80mm		滝のように降り、傘が全く役に立たず、先が見えない。
猛烈な雨	1時間に 80mm以上		息苦しくなるような、圧迫感がある。

※気象庁リーフレット「雨と風」より加工して作成